

2023年 5月 9日

一般財団法人関西観光本部
一般社団法人山陰インバウンド機構
一般社団法人四国ツーリズム創造機構
一般社団法人せとうち観光推進機構

～ Greater WEST JAPANを目指して ～

(一財) 関西観光本部、(一社) 山陰インバウンド機構、 (一社) 四国ツーリズム創造機構及び(一社) せとうち観光推進機構の 連携協定の締結について

本日、広域連携DMOとして広域エリアを一体として観光促進策を行ってきた、(一財) 関西観光本部、(一社) 山陰インバウンド機構、(一社) 四国ツーリズム創造機構及び(一社) せとうち観光推進機構の4者は、日本で初めて広域連携DMOのマルチの連携協定を締結いたしました。

歴史的、文化的な繋がりが強いこの4者が連携することで、西日本の魅力ある豊富な観光資源を活用して、これまで以上に魅力ある観光ルートの形成、テーマツーリズムの創出が促進されることが期待されます。そして、Greater WEST JAPANを目指して、連携した強力な訴求力でdestinationとしての西日本をアピールしてまいります。



1. 協定締結団体および締結者

(一財) 関西観光本部	理事長	松本 正義
(一社) 山陰インバウンド機構	代表理事	福井 善朗
(一社) 四国ツーリズム創造機構	代表理事	半井 真司
(一社) せとうち観光推進機構	会長	真鍋 精志

2. 協定締結の趣旨(資料1)

Greater WEST JAPAN (西日本広域周遊観光) を目指し、4つの広域連携DMOは世界各国から多くの旅行者の誘客を促進します。

3. 連携の事業内容(資料2)

- (1) 関西、中国及び四国を結ぶ広域観光を推進し、訪日外国人旅行者の流動増に貢献すること
- (2) 海外に向けた観光情報の発信に関すること

4. 連携協定にあたっての協力団体

関西エアポート株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社、西日本高速道路株式会社、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、公益社団法人関西経済連合会、一般社団法人中国経済連合会、四国経済連合会

《ご参考》4つのDMOのご紹介

(1) 一般財団法人関西観光本部

【理念】私たちは「関西一円に海外旅行者が訪れ、地域が賑わい潤う姿」を目指し、地域の豊かな暮らしと、関西経済に貢献します。

2017年11月 関西（2府8県）における広域連携DMOとして登録

2022年 3月 関西ツーリズムグランドデザイン2025を策定

2023年 3月 EXPO2025関西観光推進協議会設立（事務局：関西観光本部）

(2) 一般社団法人山陰インバウンド機構

【戦略】多角的な誘客（ゲートウェイ戦略）の推進

2016年 4月 「山陰」が世界に通用する観光地になることを目指し、鳥取県と島根県が主導して設立

2017年10月 一般社団法人化

2017年11月 広域連携DMOとして登録

(3) 一般社団法人四国ツーリズム創造機構

【ビジョン】広域観光の推進による四国ブランドの確立

2009年 7月 官民一体のオール四国での観光推進組織として発足

2019年 3月 四国の広域連携DMOとして登録

2021年 3月 四国経済連合会/四国アライアンスと四国の観光ビジョン策定

(4) 一般社団法人せとうち観光推進機構

【ミッション】せとうちを、世界中の誰もが憧れ、また地域の誰もが誇りを持つ世界一のデスティネーションに地域とともに創り上げ、地方創生を実現します。

2013年 4月 瀬戸内を共有する7県により瀬戸内ブランド推進連合」発足

2016年 3月 上記連合を「一般社団法人せとうち観光推進機構」に発展改組

2017年11月 広域連携DMOとして登録

2023年 4月 せとうち観光戦略2023-2025の策定

【お問い合わせ】

一般社団法人四国ツーリズム創造機構

事業推進本部

松本 栄志・清水 啓司

TEL : 087-813-0431 FAX : 087-813-0312

“Greater WEST JAPAN(西日本広域周遊観光)” を目指して

去る3月31日、閣議決定された新しい観光立国推進基本計画において示された通り、我が国の最重要課題である「地方創生」のために期待される施策の一つが、インバウンド需要を地域に取り込み、これを通じて、地域を活性化させることである。わが国には旅行者を魅了する豊富で素晴らしい「自然、気候、文化、食」が揃っており、観光を通じて国内外との交流人口を拡大することは、我が国の成長戦略の柱、地域活性化の切り札といわれている。

コロナ禍により、インバウンド需要は約3年間消失した状況にあったが、コロナ前の2019年を振り返ると、旅行・観光消費は生産波及効果55.8兆円、雇用誘発効果456万人に上っていた。この数字が示す通り、観光は、地域の消費や雇用に大きな貢献ができる分野である。一方で、観光によるGDPへの寄与度は、わが国では約2%に止まっており、他の先進国であるフランスやイタリアなどの7%台と比べても伸びしろが大きく、観光は大きなポテンシャルを有していると言える。コロナ禍の先行きに明るさが増す中、2023年からは、これまで抑制されてきたインバウンド需要が急激に回復している。世界中の観光地域が旅行者を如何に誘客するかについて、熾烈な競争が始まっており、これに勝ち抜いていく必要がある。

今回、協定を締結する(一財)関西観光本部、(一社)山陰インバウンド機構、(一社)四国ツーリズム創造機構及び(一社)せとうち観光推進機構は、いずれも広域連携DMO(注)として、広域エリアを一体として観光促進策を行ってきた。今般、歴史的、文化的な繋がりが強いこの4者が、関西国際空港からのインバウンドの促進などを柱に連携することで、西日本の魅力ある豊富な観光資源を活用して、これまで以上に魅力ある観光ルートの形成、テーマツーリズムの創出が促進されることが期待される。そして、連携した強力な訴求力で、世界にデスティネーションとしての西日本をアピールしていく。

特に、2025年4月には大阪で、EXPO2025大阪・関西万博が開催され、2,820万人の来場者(うち海外から350万人)が見込まれている。同年5月には関西では「AWAJI 島博」、広島県・福山市では「第20回世界バラ会議福山大会」の開催が計画されており、さらに瀬戸内海においても「瀬戸内国際芸術祭」の開催調整が進められるなど、多くの訪日外国人の来訪が見込まれる。このような、好機を最大限活かし、4者が連携し“Greater WEST JAPAN(西日本広域周遊観光)”として、大きな構えで世界に西日本の魅力を発信し、世界各国から、より多くの旅行者の誘客を目指す。

(注)2017 年、観光庁は、地方公共団体と連携して観光地域づくりを担う法人(DMO: Destination Marketing/Management Organization)の登録制度を設け、地方ブロックレベルの区域を一体とした観光地域として観光地域づくりを行う組織として全国に10の「広域連携 DMO」が登録された。

【ご参考:各エリアの特徴】

関西は、1200 年以上の間、日本の都であった奈良・京都、商業の中心地・大阪、明治になって早くから開港し、多くの外国人が移り住んだ港町・神戸といった国際都市と、ユネスコ世界遺産の姫路城や熊野古道といった歴史と伝統、文化によって育まれた豊富な観光資源のもと、わが国の国宝と重要文化財の総数の、ほぼ半数が集積しているエリアである。

山陰は、鳥取砂丘、大山、隠岐諸島などといった雄大な自然とともに、世界遺産の石見銀山や縁結びの聖地「出雲大社」、日本一危険な国宝とも言われる「三仏寺投入堂」など、豊かな歴史文化資源を数多く有する地域でもある。

四国は、「古事記」の国産み神話では、淡路島に続き日本で二番目に創造された島で、胴体が1つで顔が4つあるとも言われている通り、瀬戸内海と太平洋に挟まれた島でありながら数多くの魅力を誇る。世界的な旅行ガイドブック『Lonely Planet(ロンリープラネット)』が発表した、おすすめの旅行先「Best in Travel 2022」の地域編において、四国は世界第6位に選ばれたが、その最大の理由は「四国遍路」であり、信仰の道を地域一体のおもてなしで支えるエリアでもある。

せとうちは大小700以上の島々・里山がおりなす原風景が癒しと安らぎを与えてくれる場所で、海上交通で栄えた歴史・文化・芸術・産業とともに営まれてきた人々の暮らしがあり、源流の恵みである海の幸や温暖な気候に育まれた柑橘類等の食文化と地域産品が魅力で、ありのままの日本の魅力がせとうちにある。

以上

【目的】4 DMOがパートナーとして、観光振興を中心に綿密な連携を図り、わが国の観光立国施策に貢献できるよう、**関西、中国及び四国での訪日外国人旅行者による観光消費額の拡大と持続可能な観光を推進**し、もって地域の発展を図る

連携事項

1 関西、中国及び四国を結ぶ広域観光を推進し、訪日外国人旅行者の流動増に貢献すること

- ① **関西国際空港からの訪日外国人旅行者の誘客促進** 4DMO
連携
 - ・関西エアポートと4 DMO が連携し、関西国際空港からの誘客を促進
- ② **「Kansai WIDE Area Pass」と各エリアの訪日外国人旅行者向けJRLレールパスの相互PRによる販売増に貢献** 4DMO
連携
- ③ **インバウンド向けの周遊型の高速道路割引企画「山陰・瀬戸内・四国エクスプレスウェイパス」(San'in-Setouchi-Shikoku ExpresswayPass) の相互PRによる販売増に貢献** 4DMO
連携

2 海外に向けた観光情報の発信に関すること

- ① **大阪・関西万博を見据えた情報発信** 4DMO
連携
 - ・「万博 + 観光」をコンセプトにした万博プラスワントリップの各エリアでの周遊コースの旅行商品化と情報発信
- ② **同一テーマや共通コンテンツによる相互PR** 2DMO
以上
 - ・エリア間の相互周遊促進のための観光情報の発信（食、自然、サイクリングなど）
- ③ **セールス・プロモーションの共同展開** 2DMO
以上
 - ・連携したセールスコールやFAMツアーの実施
- ④ **持続可能な観光地づくり** 2DMO
以上
 - ・持続可能な観光地づくり（JSTS-D）に関する推進と情報発信

4 DMOが連携を図り、それぞれの事業を推進

Shaping a New Journey



みち、ひと…未来へ。

